

## 応急仮設住宅が完成 入居者を募集中

このたびの豪雨災害で住宅に大規模半壊以上の損壊を受けた人などを対象にした応急仮設住宅が、沼田西町惣定の三原西部住宅団地(あやめヶ丘)に完



▲部屋にはエアコンやガスコンロを完備



▲木造で温もりのある外観

成し、先月3日から入居が始まりました。

仮設住宅は木造平屋建て、部屋は1DK(1~2人用)・2DK(2~4人用)・3K(4人以上用)の3種類で、全31戸が整備されました。部屋にはエアコン、ガスコンロを完備。冷蔵庫などの家電製品は無償で提供され、室内でペットを飼うこともできます。家賃は無料で入居期間は最長2年です。

市では、入居者を募集中です。入居には条件があります。希望する人は住宅対策課へ問い合わせてください。

### 住宅対策課

☎0848・67・6120

## 災害復旧・復興 推進本部を立ち上げ

市は先月3日、豪雨災害からの復旧・復興を推進するため、「災害復旧・復興推進本部」を立ち上げました。

本部には、被災者支援、インフラ災害復旧、災害廃棄物処理、産業支援、現地支援の5つのプロジェクトチームを設置。その中に被災者支援や被災住宅対策、災害廃棄物対策、中小企業等復興支援などに取り組みチームを配置しました。初回の会議で部長の天満市長は「被災された方が少しでも早く元の生活に戻るよう、復旧・復興の取り組みを加速していく」と述べました。



▲復旧・復興に向けて話し合う本部会議

推進本部では業務の進捗管理や情報共有のため、月2回の会議を開催。災害からの復旧・復興に全庁的に取り組んでいきます。

### 総務課

☎0848・67・6770

## 復興に向けた 住民説明会を開催

市は先月、沼田川水系の氾濫により大きな被害を受けた各地区で、周辺の住民を対象とした説明会を開きました。

説明会は北方・南方地区(10日、本郷中学校)、本郷地区(14日、本郷小学校)、沼田東・沼田西・小泉地区(19日、第五中学校)で開きました。

説明会では県職員が、災害時の沼田川やその支流、椋梨ダムの状況などを

報告し、河川内にある堆積土の撤去や樹木の伐採など、現在進めている洪水防止策について説明。被災者の生活再建に向け、必要な支援を適時行なっていく工程表なども示しました。市職員は具体的な支援策などについて、参加者からの質問に答えました。

北方・南方地区の説明会には約120人の住民が参加。「再び洪水が起きないように、万全の対策をしてほしい」「早く農業が再開できるように、土砂の撤去を急いでほしい」などの意見が出ました。天満市長は「国や県、関係機関にも要望し、被災した方々のために最大限の支援をしていく」と話しました。

記事は9月20日時点。船本地区では、9月24日に旧船木小学校で開く予定です。



▲支援の内容などについて多くの質問が出ました

### 総務課

☎0848・67・6770